

<研究主題>

すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成
～国語科の話す・聞く活動を中心として～

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名

単元名「考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう」【話す・聞く／書く】

教材名「明日をつくるわたしたち」

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・話題を決めて、収集した知識や情報を関連付け、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。
- ・自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 意見が対立した場合、適切な言葉を理解している。 ② 思考に関わる語句を文章の中で使っている。	① 身の回りにある問題について考え、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ② 自分の考えを正確に伝えるとともに、相手の考えを受け止めている。 ③ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ④ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章を推敲している。	① 身の回りにある問題について解決のための提案書を書くということに関心を持っている。 ② 提案の仕方を他の場でも生かそうという意欲をもっている。

3 単元について

(1) 児童の実態

① アンケートによる実態

学級で、国語に関するアンケートを行った。

＜アンケート結果＞

(36人回答)

		はい	どちらか という はい	どちらか という いいえ	いいえ
1	国語の学習は、好きですか？	17	17	0	2
2	班の友達に自分の意見や考えを話すことは好きですか？	18	12	4	2
3	みんなの前で自分の意見や考えを話すことは好きですか？	18	11	5	2
4	友達と話し合いながら学習することは好きですか？	17	14	5	0
5	聞き手にわかりやすいように、考えて発言していますか？	14	19	2	1
6	話している人を見て、うなずきながら聞いていますか？	20	10	4	2
7	話している人が何を伝えたいか、考えながら聞いていますか？	24	6	5	1

ほとんどの児童が、「国語の学習が好き」と答えている。「班の友達に自分の意見や考えを話すこと」や「友達と話し合いながら学習すること」には、8～9割の児童が意欲的である。また、「みんなの前で話すこと」や「聞くこと」についてもあまり抵抗がない。しかし、「緊張する」「恥ずかしい」といった理由で話すことに消極的な児童もいる。今後は、ペアやグループなど、少人数で話すことを繰り返すと共に、クラスの前で発表する機会も作っていきたい。そのためには、自分の考えを受け入れてもらえる、間違っても大丈夫、という安心感がもてるような学級の雰囲気を作っていく必要があると考える。

② 日常の実態

「話すこと」

声が大きく、自分勝手に発言する児童が多いため、声が小さくおとなしい児童は萎縮してしまいがちである。朝の会や帰りの会の司会は責任をもって一人で行うようにしているが、日ごろの授業では、ペアやグループで話し合いを行い、全員が意見を言う機会を作っている。また、国語や総合的な学習の時間で発表や交流をするときは、「お店屋さん方式」であることが多い。

「聞くこと」

個人差が大きく、二極化している。全校朝会や授業中は話し手を見ていない児童が気になる。また、説明したばかりの内容を質問してくる児童もおり、自分にとって大事なことや知りたいことを落とさずに聞こうとする力は十分育っていないと考える。「お店屋さん方式」で発表し合ったときには、感想カードを用意し、話し方や内容について相互評価するようにしている。感想カードを読むと、よく聞いており、友達の発表の良いところを見つけることもできている。

(2) 単元設定の理由

本単元は、よりよい暮らしのために自分たちにできることやしたいことを考え、グループで協議して、学級の友達に提案書を書く活動を設定している。教材を通して、自分の考えを明らかにして話し合う、自分たちの考えが伝わるように提案書を書くという、二つの言語活動を行うようになっている。児童が目的意識をもって、暮らしをよりよくしたいと提案していくことで、研究主題に迫っていくことができると考えている。

主な指導内容は、自分の考えを明らかにして計画的に話し合うこと、自分の考えが伝わるように提案書を書くことである。「グループ協議」では、どの解決策を提案するかを決める。動画や台本を参考にしながら、「意見を先に、理由を後に話す」「疑問を分かりやすく伝える」「自分の立場を明確にして話す」「司会者は、複数の考えの似ているところと違うところを明確にしながらか話を進める」など、進め方を具体的に指導していきたい。

(3) 教材の分析

教材文は、本単元の指導の流れに沿って示し、本単元の指導が教材に沿って行いやすいように構成されている。また、教材文の記述は、児童の思考の流れに沿うものとなっており、主体的な学習が促されるようになっている。提案書の例が提示されており、学習のゴールがイメージしやすい。また、デジタル教科書には、グループ協議の様子が収録されており、その動画を見せながら、話し合いの進め方を確かめさせることもできる。考えの話し方、質問の仕方、他の人への自分の意見のつなげ方、司会者による意見の整理の仕方、最後のまとめ方など、注意して聞かせることにより、自分たちの話し合いに活用させたい。

4 目指す児童像に迫るための手立て

【高学年分科会の目指す児童像】

互いの立場や意図を明確にしながら、
自分の考えを広げたり深めたりして考えをまとめることができる子

____(下線部)は「話す・聞く」の手立て

(1) 授業展開・形態の工夫

- ・単元のめあてを確認し教科書にある作例のよいところを見つけ、学習活動の見直しをもたせる。
- ・グループで話し合う活動を設定し、「話す・聞く」活動に全員が参加できるようにする。
- ・出来上がった提案書を読み合う場面では、前半・後半に分かれ、感想を述べやすい形態にする。

(2) 学習活動の工夫

- ・自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書く学習の計画を立てる。
- ・それぞれの問題についての考えをグループで発表し合い、協議して、グループで何を提案するかを決める。
- ・それぞれのグループが書いた提案書を読み合い文章の書き方について感想を交流する。

(3) ICT機器の活用

- ・デジタル教科書で提案書を拡大提示し、児童の気付きを書き込んで共有できるようにする。
- ・児童用タブレットを活用する。デジタル教科書のマッピング機能を使って、集めた情報や自分の考えをまとめさせる。
- ・デジタル教科書の動画で話し合いの進め方を確かめさせる。
- ・グループ協議の際、児童用タブレットに書き込んだものを見せながら、自分の考えを発表させる。
- ・デジタル教科書で見本となる提案書を拡大提示し、どんな情報が必要となるのか見直しを持たせる。

5 単元の指導計画（全14時間）

次	時間	・各時間の目標	・主な学習活動	● 指導上の留意点 ◇ 評価規準（評価方法）
一	1	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身の周りの問題について調べ、解決のための提案書を書く学習の計画を立て、学習の見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身の回りにどんな問題があるのか発表する。 教科書の作例を見て、提案書の内容や書かれ方について気付いたことを出し合う。 学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な事例を紹介することで意識化を図る。 ●デジタル教科書で提案書を拡大提示し、児童の気付きを書き込んで共有できるようにする。 ◇身の回りにある問題について解決のための提案書を書くということに関心をもっている。 (主①発言・ノート)
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> 自分が取り上げたい問題について情報を集め、考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げたい問題に関する情報を集める。 <マッピングの色分け> 自分が気になる問題…灰 問題だと考えた理由…緑 解決する方法…ピンク 方法の具体例…青 問題について自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル教科書のマッピング機能を使って、集めた情報や自分の考えをまとめさせる。 ◇身の回りにある問題について考え、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 (思①マップ)
二	4	<ul style="list-style-type: none"> グループ協議の仕方を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話題に沿って考えを出し合い、一つにまとめる方法を確認する。 意見が対立したときには、どうしたらよいか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル教科書の動画や台本で話し合いの進め方を確かめさせる。 ●意見が対立したときに使いたい言葉を具体的にまとめる。 ◇意見が対立した場合の、適切な言葉を理解している。 (知①発言・ノート)
	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの問題についての考えを発表し合い、グループで何を提案するかを話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループ協議の進め方」を基に、考えやそう考えた理由を発表し、話し合う。 お互いの考えについて疑問に思うことを伝え合い、提案する問題の一つに決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作ったマップを提示しながら、発表させる。 ●必要に応じて司会者に助言する。 ◇自分の考えを正確に伝えるとともに、相手の考えを受け止めている。 (思②発言・自己評価カード)

	6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書に書くための資料を集める役割を分担し、提案書に書く内容を明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書に書くための資料を集める分担をする。 (内容と理由、現状と問題点、解決する方法) ・グループで話し合っ、提案する内容を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル教科書で見本となる提案書を拡大提示し、どんな情報が必要となるのか見通しを持たせる。 ●各グループの提案書の内容を交流させ、説得力のある提案書を書いていくことへの意欲を高めるようにする。 <p>◇身の回りにある問題について考え、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(思①マップ)</p>
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書の構成内容や特徴を考えて、構成メモを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容や構成、表現の工夫を確かめる。 ・提案書の例の構成を基に、自分たちの提案書の構成を考えて、構成メモを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書紙面を大判印刷して児童の気付きを書き込み、常時掲示しておく。 <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 (思③構成メモ)</p>
三	9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メモに沿って、分担部分を記述して持ち寄り、つながりよく提案書をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メモに沿って、自分の分担部分を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書くことが苦手な児童には、見本文を用意し、それに倣って書くことができるようにする。 <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 (思③提案書の下書き)</p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた提案書をグループで読み返し、推敲することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた提案書をグループで読み返し、推敲する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 提案理由(現状、問題点)に合った説得力のある提案内容(解決策)になっているか。 ② つながりよく書けているか。 ③ 文末等が適切な表現になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●推敲が苦手な児童には、修正した方がよい表現・表記を指摘し、どのように修正したらよいか、一緒に考えるようにする。 <p>◇文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章を推敲している。(思④提案書の下書き)</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や表記を見直して修正し、清書することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に話し合ったことを基に提案書を修正して清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業が遅れがちな児童については、グループ内で声掛けや手助けを行うように助言する。 <p>◇思考に関わる語句を話や文章の中で使っている。(知②提</p>

			案書)
13	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの提案書を読み合い、文章の書き方について感想を交流することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前半・後半のグループに分かれて他のグループの提案書を読み合い、文章の書き方について感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●感想カードを用意し、文章の書き方や提案の内容について感想が交流できるようにする。 ◇提案の仕方を他の場でも生かそうという意欲をもっている。 <p>(主②感想カード)</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議をしたり提案書を書いたりしたことを振り返り、それぞれの学習で身に付けたことや学習の価値をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ協議、提案書を書くことの価値や効果を話し合わせ、他教科や日常生活で生きるものだという意識をもたせる。 ◇本単元で学習したことを他の場でも生かそうという意欲をもっている。(主②発言・ノート)

6 本時の指導 (5 / 14)

(1) ねらい

それぞれの問題についての考えを発表し合い、グループで何を提案するかを話し合うことができる。

(2) 展開

過程	○主な学習活動	●指導上の留意点	◇評価内容と方法
導入	○本時の学習について見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●「グループ協議の進め方」 「意見が対立したときには」を掲示しておく。 ●一つに決めることより、じっくり話し合っよりよい提案にしていくことが大切であることを確認する。 	

<p>展開</p>	<p>自分の考えを発表し合い、グループで何を提案するのか決めよう。</p> <p>○「グループ協議の進め方」を基に、自分の立場をはっきりとさせて意見を述べ合い、提案する問題を一つに決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者の進行にしたがって話し合いを進める。 ・考えを発表するときは、考えとそう考えた理由を言う。 ・お互いの考えについて疑問に思うことを伝え合う。 ・提案する問題を一つに決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作ったマップをタブレットで提示しながら、発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 司会者の決定 ② 各自の考えを発表する。なるほどと思ったこと、質問したいことをメモする。(3分×4名) ③ 互いに質問し、応答する。 ④ 意見交換、考えをまとめ、一つにする。 ⑤ 話し合いの内容をまとめ </div> <ul style="list-style-type: none"> ●司会者にストップウォッチを持たせる。 ●机間指導する中で、良い話し合いや良い発言を見つけておく。 ●提案する内容が早く決まった場合は、解決策についてみんなで考え、マッピングを広げていく。 	<p>◇自分の考えを正確に伝えるとともに、相手の考えを受け止めている。 (思②発言・自己評価カード)</p>
<p>まとめ</p>	<p>○決まったことや決まらなかったこと、どのような話し合いができたのか、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●話し合いの良かったところやよい発言などを評価する。 	

資料1
板書計画

<p>自分の考えを発表し合い、グループで何を提案するのか決めよう。</p>	<p>【グループ協議の進め方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 司会者の決定 ② 各自の考えを発表する。なるほどと思ったこと、質問したいことをメモする。(3分×4名) ③ 互いに質問し、応答する。 ④ 意見交換、考えをまとめ、一つにする。 ⑤ 話し合いの内容をまとめる。 	<p>【意見が対立したときには】</p> <p>〜芝小五年一組バージョン〜</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理由を聞く・話す 「どうしてそう思うの？」 「なぜかというと、くだからだよ。」 ② 考えの良いところを見つめる。 「確かに、その考えも分かる」 「似ているところで歩み寄る。」 ③ 「それなら、こうしたらどうかな。」
---------------------------------------	---	---